



平成 26 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 三菱重工業株式会社
代 表 者 取締役社長 宮永 俊一
(コード番号 7011)
上 場 取 引 所 東 名 福 札
問 合 せ 責 任 者 グループ戦略推進室
広報部長 齊藤 啓介
(TEL03-6716-3111)

当社連結子会社による合弁会社設立に関するお知らせ

当社は、ドイツのシーメンス社（Siemens AG）との間で、当社の連結子会社である三菱日立製鉄機械株式会社（以下、MH といいます。）とシーメンス社の製鉄機械事業を分割・集約することにより、合弁会社を設立することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 合弁会社設立の目的

世界の鉄鋼業界では、設備過剰、原材料コストの増大、製品価格低下などの影響により、設備投資意欲が低調に推移すると予想されます。そうした状況下で、2000 年 10 月に当社と日立の合弁会社として発足した MH は、昨年 10 月に IHI メタルテック株式会社との圧延機分野における事業統合を完了し、連続鋳造、熱・冷間圧延、条鋼圧延から、最下流となる連続焼鈍・亜鉛めっき設備までの製品供給が可能になっています。今回、シーメンス社との合弁により、最上流の高炉・電炉が加わることで、全製鉄プロセスでの製品供給能力が大幅に高まり、また両社が得意とする地域の補完効果も大きく、アジア、欧州、ロシア、北中南米、アフリカなど、全世界での事業展開を加速することが可能となります。さらに、MH の高いプロジェクトマネジメントノウハウや、シーメンスが持つ豊富なサービス事業ノウハウを活用し機電一体として相乗効果を追求することにより、顧客に対し、より付加価値の高い製品・サービスを提供することを目指します。

なお、詳細につきましては、別添のニュースリリースをご参照ください。

2. 当該連結子会社の概要

(1) 名 称	三菱日立製鉄機械株式会社
(2) 所 在 地	〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34-6
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 西 良一
(4) 事 業 内 容	熱間及び冷間圧延設備、プロセス設備の開発・設計・調達・製造・販売及び販売関連エンジニアリング等

(5) 資本金	3,500 百万円
(6) 出資比率	三菱重工業株式会社 56% 株式会社日立製作所 34% 株式会社 IHI 10%

3. 合併会社の概要

(1) 名称	未定
(2) 所在地	英国
(3) 代表者の役職・氏名	未定
(4) 事業内容	製鉄機械全般（高炉、電炉、連続鋳造設備、熱間及び冷間圧延設備、プロセス設備等）に関する開発・設計・調達・製造・販売及びアフターサービス
(5) 資本金	未定
(6) 設立年月日	2015年1月（予定）
(7) 決算期	未定
(8) 出資比率	三菱日立製鉄機械株式会社 51% Siemens AG 49%

（注）未定としている項目については、決定次第開示いたします。

4. 合併相手先の概要

(1) 名称	Siemens AG		
(2) 所在地	Wittelsbacherplatz 2 80333 Munich Germany		
(3) 代表者の役職・氏名	Joe Kaeser, President and CEO		
(4) 事業内容	インフラ・都市、ヘルスケア、工業、エネルギーに関する開発・設計・調達・製造・販売・アフターサービス 及びこれらに関連する事業		
(5) 資本金	2,643 百万€		
(6) 設立年	1847年		
(7) 大株主及び持株比率	SIEMENS Family 6.00% Blackrock 5.21%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係			
資本関係	特筆すべき重要な資本関係はありません。		
人的関係	特筆すべき重要な人的関係はありません。		
取引関係	特筆すべき重要な取引関係はありません。		
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態（単位：特に記載のない限り百万€）			
決算期	2011年度	2012年度	2013年度

連 結 純 資 産	32,271	31,424	28,625
連 結 総 資 産	104,210	108,251	101,936
1株当たり連結純資産	€35.30	€35.67	€32.49
連 結 売 上 高	72,526	77,395	75,882
連 結 営 業 利 益	7,912	6,796	5,328
連 結 経 常 利 益	—	—	—
連 結 当 期 純 利 益	5,723	4,151	4,284
1株当たり連結当期純利益	€6.26	€4.71	€4.86
1株当たり配当金	€3.0	€3.0	€3.0

5. 日程

(1) 契 約 締 結 日	2014年5月7日
(2) 事 業 開 始 日	2015年1月(予定)

6. 今後の見通し

新合弁会社は2020年に売上高4,000億円を目指します。

なお、当該合弁会社設立による平成27年3月期の業績への影響は、連結、個別ともに軽微です。

以 上

独シーメンス社と製鉄機械の合弁会社を設立
製品のフルライン供給体制を整え製鉄機械のグローバル展開を加速

三菱重工業は7日、ドイツのシーメンス社（Siemens AG）と、製鉄機械の合弁会社を設立することで合意しました。2015年1月に設立する予定です。製鉄機械事業における製品ラインナップの拡充とグローバル展開を加速するのが狙いで、新会社は製鉄プロセスの上流から下流までをカバーする製品をフルラインで供給する体制の整備と全世界を網羅する事業ネットワークの構築に取り組むことにより、顧客に対し、より付加価値の高い製品・サービスを提供することを目指します。

新合弁会社は、当社連結グループ会社で株式会社日立製作所および株式会社 IHI が出資する三菱日立製鉄機械株式会社（社長：西 良一、本社：東京都港区）と、シーメンスグループ会社がドイツ、オーストリア、米国などに持つ製鉄事業を分割・集約することにより、英国国内に設立。傘下に事業会社を抱えます。出資比率は三菱日立製鉄機械 51%、シーメンス 49%とする計画で、CEO は人選中です。

新合弁会社は、日本（東京／広島）、オーストリア（リンツ）、ドイツ（エアランゲン）、米国（ピッツバーグ）、中国（上海）、インド（ムンバイ）の6カ所に地域拠点を置き、全世界をカバーする計画です。製品ライン別の事業部は、東京／広島、リンツ、エアランゲンの3カ所に分けて設置し、その他の三菱日立製鉄機械とシーメンスの既存事業拠点は、担当製品により、東京／広島またはリンツの傘下に入る予定です。英国本社は、事業部も含め地域拠点を統括するとともに、販売・マーケティング・顧客管理、調達、製造、研究開発計画等の組織横断的機能を持ち、各拠点をバックアップしていく計画です。新会社発足時の従業員は約9,000人を予定しています。

2000年10月に当社と日立の合弁会社として発足した三菱日立製鉄機械は、昨年10月にIHIメタルテック株式会社との圧延機分野における事業統合を完了。連続鋳造、熱・冷間圧延、条鋼圧延から、最下流となる連続焼鈍・亜鉛めっき設備までの製品供給が可能になっています。今回、シーメンスとの合弁により、最上流の高炉・電炉設備が加わることで、製品ラインナップが拡充され、全製鉄プロセスでの製品供給能力が高まります。

また、両社が得意とする地域の補完効果も大きく、アジア、欧州、ロシア、北中南米、アフリカなど、全世界での事業展開を加速することが可能となります。さらに、三菱日立製鉄機械の高いプロジェクトマネジメントノウハウや、シーメンスが持つ豊富なサービス事業ノウハウを活用し機電一体として相乗効果を追求することにより、事業機会の拡大をはかっていきます。

世界の鉄鋼業界では、設備過剰、原材料コストの増大、製品価格低下などの影響により、設備投資意欲が低調に推移すると予想されます。そうした状況下で、今回の合弁合意は、製品拡充と事業拠点網の整備により事業強化を目指す当社・日本側と、事業ポートフォリオ見直しのなかで製鉄機械事業の体質改善を急ぐシーメンス側、両者の狙いが一致したことにより実現したものです。

当社とシーメンスは、新合弁会社と密接に連携し、その事業展開を全面的に支援していきます。